ふりがな よしい 吉井 ひさの 出身地 男 (女) 奈良 2 9 歳) (満 参加した NICE ボランティア 分野 国際ワークキャンプ・週末ワークキャ│環境・福祉・農業・教育・開発など 満足度 ンプ・グループワークキャンプ 日本各地・海外アジア 80 (国・市町村まで記入) 全期間参加したのは… 受け入れ団体 活動のやりがい度 日の出&東京港、塩沢、マレーシア(NICE)、モン ゴル (MCE) インドネシア (IIWC)、フィリピン 80)、西日本の活動先いろいろ

こんなボランティアでした

初めて参加したモンゴルのワークキャンプでは、養護施設の子どもたちと一緒に一日中お野菜の収穫や保存準備をしていました。その後はナイス職員として、西日本のワークキャンプやアジアでのワークキャンプリーダーとして参加しました。

年齢	経歴
2 1 歳	NICE関西事務局のポランティアスタッフ
	モンゴルの国際ワークキャンプに参加
22歳	(特活)NICE 日本国際ワークキャンプセンター 関西事務局専従職員
27歳	(特活)NICE 退社
	(特活)とちぎュースサポーターズネットワーク 専従職員
	とちぎユースワークカレッジ 農業プログラム担当
趣味・特技	食べること♪
座右の銘	未来は今の積み重ね
参加までの旅行経験・ボランティア経験	
Au Pair としてアメリカに1年&旅行	
アメリカの公立小学校で日本語クラスのお手伝い	

記入上の注意 1: 鉛筆以外の黒または青の筆記具で記入。 2: 数字はアラビア数字で、文字はくずさず正確に書く。

志望動機

アメリカでの経験が、

① ボランティアのイメージを変え、以前よりも興味を持ちました

(→現地の人たちは活動先での出会いを楽しみ、その出会いが人生を豊かにしている様に感じました)

② 「豊かさ・幸せ」について考えるきっかけになりました

(物質的な満足には限界があり、何が人生において大切が改めて考える機会でした)

⇒ さんな事を考えている時に、青年海外協力隊の説明会でNICEのワークキャンプを知ったのがきっかけ であり、志望動機でもあります。

行くまでに心配だったこと (どう乗り越えたか)

行く前は特に心配はしていませんでした。

怖いもの知らず、思い返せば怖いこともいっぱいあったけど行く前は期待のほうが大きかった気がします。 次回、行く機会があればやの時の方が心配しやう・・・でも、行くだろうけど^^;

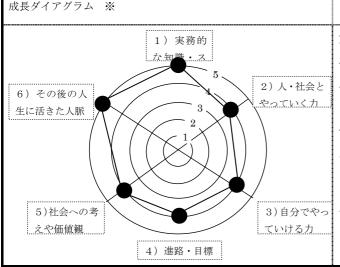
家族・友人・学校・職場の反応(私はこうやって説得した!)

特に反対する人もいませんでした。私が気づかなかっただけかなぁ!?

9.11 テロ直後のアメリカに行った後の事だったので、親も慣れていたし、今更何を言っても聞かないと思ってたのかも。

ワークキャンプとその後の人生(進路決定、参加経験が役立っていること等)

アメリカで出会った人たちから学んだ価値観を、ワークキャンプを通してより自分の中に落とし込めたと思います。そしてワークキャンプに参加した事により NICE の職員として働く機会もいただきました。
NICE 職員とし働いた5年間は日本各地、世界で地道にコツコツと活躍している人たちと出会い、様々な考え価値観に触れることができました。また尊敬する方との出会いや一緒に考え活動するかけがえのない大切な人たちにも恵まれました。そんな人たちとの出会いが、今の自分をつくっている事は間違いないと思います。



これから参加を考えている人へ、熱いメッセージを♪

迷っているのであれば、ぜひご参加を!
参加してみて、自分は違うなぁと思っても、その事自体が気づきであり、その後の自分をつくっていく大切な気づきになると思います。そして、その一歩は「1」ではなく「2」にも「3」にもなり、様々なきっかけや思いがけない出会いがそこにはあると思います♪と、自分自身の参加で感じ、NICE 職員として参加された方の体験談をたくさん聞かせてもらった結果、今思う事です。

※成長ダイアグラム(5=とても得るものがあった・良くなった。4=まあまあ得るものがあった・良くなった。3=前と変わらなかった。影響なし。2=前よりもやや劣るようになった・悪くなった。1=前よりもずっと劣るようになった・悪くなった。)